

パリ万博 150 周年記念企画展

日本美術の明暗

— 佐野常民 美術にかけた思い —



2017 11/3(金・祝)～12/17(日)

会場：佐賀市佐野常民記念館(佐賀市川副町大字早津江津 446-1)

TEL：0952-34-9455 FAX：0952-34-9465

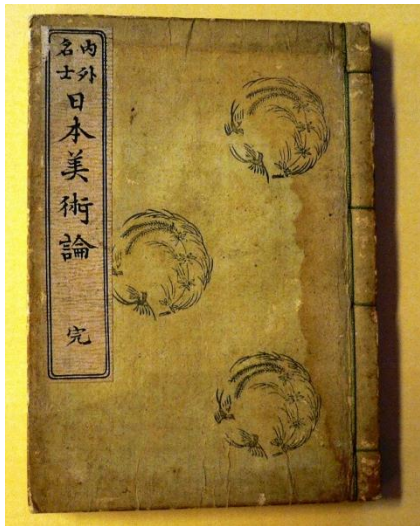
開催時間：9:00～17:00 休館日：12/4(月)11(月) 観覧料：大人 300円 小・中・高校生 100円

主催//佐野常民記念館 共催//佐野常民顕彰会

後援//日本赤十字社佐賀県支部、朝日新聞社、毎日新聞社、佐賀新聞社、西日本新聞社、読売新聞西部本社、サガテレビ、NHK佐賀放送局、エフエム佐賀、NBCラジオ佐賀(順不同)



パリ万博冊子類 (当館蔵)



日本美術論 (当館蔵)

—企画展関連イベント—

手づくりハガキで版画に挑戦
 11月26日(日) 13:30~15:00
 (11月2日午前9時より申し込み開始)
 詳細は下記問い合わせまで

—お問い合わせ—

佐野常民記念館
 TSUNETAMI SANŌ Memorial Museum

〒840-2202
 佐賀県佐賀市川副町大字早津江津 446-1
 TEL 0952-34-9455 FAX 0952-34-9465
 E-mail tunetami@star.saganet.ne.jp

万国博覧会を契機に日本という国が大々的に知られるようになる、日本的なものに興味を持ち始める人々が急増。やがて「ジャポニスム」と呼ばれる現象を巻き起こし、西洋の美術家たちの間では浮世絵や陶磁器などが注目を浴び、西洋美術に大きな影響を与えました。

一方、日本では急激な西洋化により従来の日本美術が価値を落とし、作家も需要を失うという事態に陥り始めます。1879年この状況を危惧し、日本古来の美術を保護するという目的で「龍池会」が発足。会頭に佐野常民が就くこととなりました。龍池会は美術品の展覧会を開き品評会を行うことで日本美術の保護・振興に尽力。更に活動の幅を広げ「日本美術協会」という形で現代まで息づいています。

企画展では、万国博覧会に関連した作品を展示し、時代の変化による日本美術の移り変わりに目を向けるとともに、美術の世界での佐野常民という人物に迫ります。

